

第4回やすらぎ堤デザイン検討委員会資料
平成27年10月7日(水)

意見募集結果と対応について

意見募集結果と対応について

1. 意見募集結果

	募集方法	意見数
委員	デザイン検討委員会 委員からの意見聴取	11件
一般 (募集期間：8/7～8/30)	新潟市及び信濃川下流河川事務所ホームページ	0件
	やすらぎ堤工事情報館	11件
	その他	8件（委員知人1件、委員関係団体7件）
	合計	30件

2. 意見要旨と対応方針

(1) やすらぎ堤全体の使い方や賑わい拠点の配置について

ジャンル	意見要旨	対応方針
使い方全般	<ul style="list-style-type: none"> 安全への配慮、今までにない使用法の提案を行った上で、使用者の自由な使い方にまかせること。 すでによく使われているランニングや散歩等の使用がよりやりやすくなることを目指してほしい。 	資料 3p4、資料 3p5:「機能配置の基本的考え方」に反映。
休憩・利便施設	<ul style="list-style-type: none"> トイレ、水道（水飲み場）、四阿を増やして欲しい。 工事情報館やカフェなど、人のいる店舗のそばに公衆トイレがあれば、女性や子供でも安心して利用しやすくなる。 	今後、具体的な計画や設計の中で配慮を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> スタンド灰皿を置く場合は、喫煙ブースにして完全に隔離してほしい 	
	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店や売店、水上コテージなどを新設してほしい。 	堤内地での対応を基本として、今後の検討課題とする。
駐車場・駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> 自動二輪車（200cc スクーター）置場がほしい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 駐車料金の割引などがあるとよい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 官公庁施の駐車場を有料でもいので休日開放するのはどうか。 	
工事情報館	<ul style="list-style-type: none"> 防災教育だけでなく、情報発信・管理拠点として、また空調付きの休憩場として、多様な利用が考えられる。 現状、ランニングで休憩できる日陰が少ないため、工事情報館のような施設が増えたらよい。 	資料 3p5、資料 4p18:防災教育の拠点となるような場の創出を、「機能配置の基本的考え方」に追記。

ジャンル	意見要旨	対応方針
船・船着場	<ul style="list-style-type: none"> 船着場の整備を明確に計画してほしい。(りゅーとびあ前、ユニゾンプラザ前) スロープを整備し、ポートトレーラーを使えるようにしてほしい。 	水面利用や水上交通利用の促進の取組の中で、仮施設として浮棧橋の設置を提示済。
情報・案内施設	<ul style="list-style-type: none"> 案内誘導サインや行き先案内板などを天端の道や橋に設置してほしい。 	今後の具体的なサイン計画や設計の中で配置を検討。
植栽	<ul style="list-style-type: none"> 風除けとなる常緑の巨木を植栽してほしい。(冬の暴風対策) 水辺に樹木を植え、木陰をつくることで魅力アップを図ること。 シンボルツリーが必要である。 桜並木の管理が不十分に見えるため、更新や樹種変更等の処置をしてほしい。 	資料 5p21～:「植栽」を新たに項目として追加。既存樹木の更新、新規植栽の考え方を示した。
交通・アクセス性	<ul style="list-style-type: none"> 萬代橋からやすらぎ堤へ直接アクセスできるようにしてほしい。 	資料 3p3、資料 4p14、資料 4p20: 萬代橋は文化財としての価値を尊重し、安易な動線整備は行わない。当面、左岸ホテルオークラ前の立体歩道橋の整備によりアクセスの改善を図ることを追記。
	<ul style="list-style-type: none"> 昭和大橋・千歳大橋間に橋を新設してほしい。 	まちづくりに係る整備の中で、今後の検討課題とする。
	<ul style="list-style-type: none"> イベントの際、自家用車で遠方から来訪する利用者に対するパークアンドライドの仕組みが必要である。 	
利用者の安全性	<ul style="list-style-type: none"> 子供にとって危険な部分が少なくなるとよい。 	具体的な設計の中で子供の安全対策に配慮していく。
自転車道・自転車動線の整備	<ul style="list-style-type: none"> 自転車専用レーンなどによって自転車と歩行者を完全分離し、利用者の安全性を確保する。 歩行者と自転車の共存は難しくなっており、車両としての扱いから通行制限はやむを得ない。自転車の走行空間をきちんと確保してほしい。 自転車、ジョギング、歩行の優先通路が識別できる路面色表示を検討してほしい 標識や案内看板等により明示していただきたいと思います。 自転車走行空間の整備にあたって、市役所土木総務課との協働事業報告書(H26年度)を参考にしてほしい 整備イメージ図では自転車が描かれておらず、「整備後は自転車の通行はできない」ように誤解するおそれがある。 	資料 3p6: 通過自転車は車道(自転車通行レーン)へ誘導、天端通路は歩行者最優先、レーン分けは行わない方針とする。 資料 4p9: イメージ図に、自転車の利用イメージを一部加筆
健康・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 天候に関わらず健康づくりに親しめる環境作りが必要である。 りゅーとびあ前に健康遊具を導入してほしい。 ランニング以外のスポーツ利用ができる施設・整備をしてはどうか。(特に子供がのびのび遊べる場所、スケートボードなど若者向けの施設) 	資料 3p4: 「治水機能の確保を大前提とし、施設の整備にあたっては堤防の安全性や洪水の流下に支障を及ぼさないよう十分留意する必要がある」ことを踏まえつつ、「高水敷は利用方法や機能を限定するような施設整備は行わない」ことを基本方針とする。また堤内地の既存施設利用と連携して利用促進を図る方針とする。

ジャンル	意見要旨	対応方針
賑わい・イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的な活用を促す施設の設置や、施設配置の工夫が必要である。特に冬季の利用を促すような施設が必要。 	同上
	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント時の車の乗り入れに対し、養生マットの設置が必要である。 	具体的な計画や設計の中で配慮を加えていくものとする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいづくりのためのイベント等には今以上の工夫を施す必要がある。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季でもランニングやウォーキングができる環境を整え、(年間を通した)賑わいの創出が必要である。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「新潟らしさ」を表すモニュメントや標識等を設置して観光客の写真スポットとしてはどうか。 ・開放的な空間と水面を有効活用し、他にはない魅力づくりをしてほしい。 	
その他	<p>《要望》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備スケジュールを明示すべき 	整備工程は、国・市それぞれの事業スケジュールが具体化した時点で各事業者が明示する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・思わず昼寝したくなる水辺空間を作してほしい。 ・やすらぎ堤の水辺から野鳥(カモやカモメなど)がいなくならないよう、整備済み区間においても配慮を行ってほしい。 	具体的な築堤護岸設計の中で配慮を加えていくものとする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会では市道・県道の管理者および警察署にもヒアリングを行ってはどうか。 	具体的な計画や設計の中で、確認を行いながら進めていくものとする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・整備エリアを拡大する前に、やすらぎ堤それぞれのエリアが現在どのように利用されているのかをよく把握して課題を検討する必要がある。 	具体的な計画や設計の中で、エリアごとの課題に対して配慮を加えていくものとする。

(2) 堤防未整備区間の整備イメージや、整備済、重点区間のリニューアルと活用方法について

ジャンル	意見要旨	対応方針
未整備区間：新光町	<ul style="list-style-type: none"> 仮設でもいいのでドッグランを設置してはどうか。 	<p>資料 3p4:「治水機能の確保を大前提とし、施設の整備にあたっては堤防の安全性や洪水の流下に支障を及ぼさないよう十分留意する必要がある」ことを踏まえつつ、「高水敷は利用方法や機能を限定するような施設整備は行わない」ことを基本方針とする。併せてイベント等の取組も含め、仮施設での対応を基本とする。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 防災船着場の舗装部分は、平常時に駐車場として利活用してはどうか。 	
未整備区間：関新	<ul style="list-style-type: none"> 関新地区の整備を優先的に行い、早期左岸全通を早く実現してほしい。 	<p>整備工程は、国・市それぞれの事業スケジュールが具体化した時点で各事業者が明示する。</p>
未整備区間（自然環境）	<ul style="list-style-type: none"> 水棲生物の生息環境保全をしてほしい。(コンクリートで固めない) 新規植栽種の選定には、信濃川流域に生息している種を用いるなどの配慮が必要である。 植生復元エリアではモニタリングにより植生定着状況を把握する必要がある。 死水域は出水直後の清掃など、適切な管理が必要である。 生態系や自然に関する解説パネルを設置してほしい。 	<p>資料 4p4: : 主な整備要素の設計方針の中に、自然環境の保全について追記。</p>
未整備区間（動線の整備）	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者・自転車の通行ルールを決めて欲しい(左側通行・右側通行)。 千歳大橋とやすらぎ堤とを直接結ぶ通路(階段やスロープ)が、両岸・上下流側すべてに必要である。 やすらぎ堤右岸から本川大橋へのアクセス性を改善してほしい。(自転車、歩行者ともに) 	<p>資料 3p6: 通過自転車は車道(自転車通行レーン)へ誘導、天端通路は歩行者最優先、レーン分けは行わない方針とする。</p> <p>資料 3p3: 各橋梁から天端へのアクセス動線を確保する考え方とする。ただし萬代橋は文化財としての価値を尊重し、安易な動線整備は行わない。当面、左岸ホテルオークラ前の立体歩道橋の整備によりアクセスの改善を図る。</p>
未整備区間（その他）	<ul style="list-style-type: none"> 日除け、ベンチなどの整備が必要である。 未整備区間は早めに整備してほしい。 伝統的工法を活かした護岸計画をしてほしい。 まちづくり計画等と連携した整備をしてほしい。 	<p>今後の具体的な設計や施設更新計画の中で配慮を行っていく。</p>
整備済み重点区間：りゅーとぴあ	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の文化施設やスポーツ施設、学校等と連携した整備や活用を図ることが望ましい。 	<p>今後の具体的な利活用の取組の中で、周辺施設との連携を盛り込んでいく。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 階段護岸の陥没対策が必要。 	<p>具体的な計画や設計の中で配慮を加えていくものとする。</p>
整備済み重点区間：萬代橋上流両岸	<ul style="list-style-type: none"> 右岸から本川大橋への通路について、自転車に乗ったまま利用できるように整備してほしい。 左岸から萬代橋上へのアクセス性を改善してほしい。(自転車、歩行者とも) 	<p>資料 3p3: 各橋梁から天端へのアクセス動線を確保する考え方とする。ただし萬代橋は文化財としての価値を尊重し、安易な動線整備は行わない。当面、左岸ホテルオークラ前の立体歩道橋の整備によりアクセスの改善を図る。</p>

ジャンル	意見要旨	対応方針
整備済み重点区間：萬代橋上流両岸	<ul style="list-style-type: none"> 賑わい創出に、萬代橋下流の空間（万代テラス）も活用してはどうか。 	資料 4p17: 萬代橋下流の空間(万代テラス)との連携利用を追記
	<ul style="list-style-type: none"> 堤防工事により除去されるススキの移植や、イチョウの植栽によって、季節ごとに植物の見ごろがある空間になる。 リニューアルの際、既存樹木は極力残す方針としてほしい。 	資料 5p21～:「植栽」を新たに項目として追加。既存樹木の更新、新規植栽の考え方を示した。
	<ul style="list-style-type: none"> 遊具や水上栈橋を新設してはどうか。 	資料 3p4:「治水機能の確保を大前提とし、施設の整備にあたっては堤防の安全性や洪水の流下に支障を及ぼさないよう十分留意する必要がある」ことを踏まえつつ、「高水敷は利用方法や機能を限定するような施設整備は行わない」ことを基本方針とする。併せてイベント等の取組も含め、仮施設で対応する方針とする。
全般（飲食店・売店・休憩所）	パラソルテーブルセットや売店などがあると良い。	ミズベリングなど具体的な利活用の取組の中で、対応していく。
全般（自転車道）	<ul style="list-style-type: none"> ランニング等のレクリエーション利用と自転車通行のすみ分けが必要。 左岸散歩コースの連続させて欲しい。 今後の多様な利活用や利用者増を考えて、通路の拡大整備や通行区分表示などをする必要がある。 	資料 3p6:通過自転車は車道(自転車通行レーン)へ誘導、天端通路は歩行者最優先、レーン分けは行わない方針とする。
全般（デザイン）	<ul style="list-style-type: none"> 統一性のあるデザインにしてほしい。（関新にある四阿のデザインはお粗末） 	デザインの統一性について記載済。
	<ul style="list-style-type: none"> 植栽デザインが重要である。 	資料 5p21～:「植栽」を新たに項目として追加。既存樹木の更新、新規植栽の考え方を示した。
全般（施設）	<ul style="list-style-type: none"> アート絡めた魅力ある遊具やアスレチックゾーンがあるとよい 	資料 3p4:「治水機能の確保を大前提とし、施設の整備にあたっては堤防の安全性や洪水の流下に支障を及ぼさないよう十分留意する必要がある」ことを踏まえつつ、「高水敷は利用方法や機能を限定するような施設整備は行わない」ことを基本方針とする。
	<ul style="list-style-type: none"> スロープを整備し、ボートトレーラーを使えるようにしてほしい。（現状、ボートトレーラーを降ろせるスロープがない） 	水面利用や水上交通利用の促進の取組の中で、仮施設として浮栈橋の設置を提示。
	<ul style="list-style-type: none"> 時間・費用をかけずにちょっとした付加施設で使いやすくできないか（水際照明・着脱式パラソル） 	今後の具体的な設計や施設更新計画の中で配慮を行っていく。
	<ul style="list-style-type: none"> やすらぎ堤は、自転車の乗り入れができる一方で、駐輪場所がない。駐輪場所の明示やバイクラックの設置をお願いする。 	資料 3p3: 堤防上に駐輪場は原則設置しない。堤内地施設との連携について考え方を記述。

(3) ベンチ、四阿、照明など、各種施設のデザインの考え方について

ジャンル	意見要旨	対応方針
ベンチ	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に配慮して、背もたれのあるベンチがよい。 ・ベンチはたくさん、特に日陰となる場所にほしい。 ・照明はベンチの近くに設置しない。(虫が寄ってくるため) ・ウッドチェアのようなオシャレなものがよい。 	今後の具体的な設計や施設更新計画の中で配慮を行っていく。
四阿	<ul style="list-style-type: none"> ・大屋根の四阿にして、どの時間帯でも必ず日陰のある休憩所にしてほしい。 ・環日本海交流の拠点である新潟らしさをPRすべく、デザインに対岸諸国の様式(ロシア建築風・北京天安門広場風)を取り入れてはどうか。 	今後の具体的な設計や施設更新計画の中で配慮を行っていく。
照明	<ul style="list-style-type: none"> ・照明はベンチの近くに設置しない。(虫が寄ってくるため) ・現状、照明が少し暗い。 ・規格・配置間隔等を統一する。 ・夜はライトアップして河岸からの眺めが美しくなるように。 ・環日本海交流の拠点である新潟らしさをPRすべく、デザインに対岸諸国の様式(ロシア建築風・北京天安門広場風)を取り入れてはどうか。 	今後の具体的な設計や施設更新計画の中で配慮を行っていく。
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔で安心して使えるとよい。 ・設置場所に配慮してほしい。(人通りの多い所や賑わい拠点に設置するなど) 	今後の具体的な設計や施設更新計画の中で配慮を行っていく。
サイン・目印	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客対応として、サインや案内板を多言語表記にしてほしい。 ・集合場所の目印となるオブジェ等を配置して、楽しくわかりやすい空間にしてほしい。 	今後の具体的なサイン計画の中で配慮を行っていく。
転落防止	<ul style="list-style-type: none"> ・萬代橋付近の転落防止柵について、橋との調和を考慮したデザインに改修してほしい。 	資料 5p3: : 萬代橋周辺の転落防止柵について一部修正。
駐車場、駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいの拠点や休憩場所に、駐輪場所やバイクラックの設置も検討してほしい 	資料 3p3: 堤防上に駐輪場は原則設置しない。堤内地施設との連携について考え方を記述。
全般のデザイン方針	<p>《イメージ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状、殺風景なイメージがあるので明るいものを使用してほしい(しかし、汚れが目立つ可能性あり) ・信濃川の持つ「日本最大の河川」というイメージを損なわないよう、水辺空間が広く見えるような工夫をしてほしい。 ・都会的で洗練されているイメージが必要である。 	資料 5p1~: 「“川らしさ”を基調として控えめで目立たないデザインで統一する」という方針のもと、左記のキーワードをデザインの基本方針に反映。

ジャンル	意見要旨	対応方針
全般のデザイン方針	<p>《眺望・景観》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対岸から見た景観が美しくなるように色彩や照明を工夫する。 ・高水敷だけでなく、堤内地からの眺望にも配慮してほしい。 ・周囲の景観と調和した、落ち着いたデザインがよい。 <p>《施設の機能》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見た目だけでなく機能(座りごこち、日陰の大きさなど)も重視してほしい。 ・耐久性があり、安っぽくないものがよい。 ・シンプルで長寿命、メンテナンスが少なくすむものがよい。 ・高齢者の利用が増えるため、バリアフリーに気を使ってほしい。 <p>《デザインの統一感》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新潟らしさ」の主張が必要。(特産品をモチーフにしたデザイン等) ・萬代橋下流エリアについても、やすらぎ堤との一体的なデザインを検討してほしい。 <p>《その他》</p> <p>人工物をただ目立たなくさせるのではなく、それ自体が個性ある建造物として、景観に深みと魅力を増すような役割を持たせることも重要である。(シンプルながら風格をもち、時とともに周囲の自然に溶け込んでいくよう、素材を厳選する)</p>	資料 5p1～:「“川らしさ”を基調として控えめで目立たないデザインで統一する」という方針のもと、左記のキーワードをデザインの基本方針に反映。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ペット連れや赤ちゃん連れのための施設が充実しているとよい。 ・パブコメの資料は、一般市民が理解しやすいよう、専門用語に説明を付けるなどすべきである。 	<p>今後の具体的な設計や施設更新計画の中で配慮を行っていく。</p> <p>意見募集に於いては一般市民の理解を促進するよう配慮が必要であった。ただし本資料は、今後の設計・施工にあたり行政担当者が参照するガイドブック的な役割であるため、あいまいな表現で誤解が生じないよう専門用語を使用することを方針とする。</p>